

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」

- ・心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒の育成。
- ・グローバルな視点を持ち対応できる創造力を備え、地域や産業社会に誇りと愛着を持ち貢献できる生徒の育成。
- ・自らの将来像を明確にイメージし、その実現のために具体的に行動できる生徒の育成。

豊かな人間性

- ・学校教育活動全体を通じた道徳教育の推進
- ・他人を思いやる豊かな心の育成
- ・自ら課題を見つけ、自ら行動できる態度の育成

健康・体力

- ・部活動への積極的な参加の奨励
- ・体力の向上と不屈の精神の錬磨
- ・基本的生活習慣の確立

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・確かな学力(生きる力)を身に付け、グローバルな視点で、主体的に判断し行動できる。
- ・ものづくりや生徒会活動、部活動等を通して、自己を客観的に評価し、社会的・職業的に自立できる知識・技能を習得できる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・工業における専門的な知識・技術と豊かな創造力
- ・幅広い教養と国際的感覚
- ・他と協力して目標に向けて努力し続ける力
- ・他者を思いやり協働する能力
- ・基本的な倫理観や規範意識

生徒の実態

- ・学習や部活動等への取組は良いが、主体的に考えることや自ら実行することに踏み出せない。
- ・活気があり、落ち着いた学校生活を送るが、SNSや交通のマナーを守れない生徒もいる。
- ・高校での学びと、卒業後の進路の関連が強い。

生徒の発達を

どのように支援するか

- ・個に応じた指導と支援
- ・職員間の情報共有
- ・外部機関との連携(企業・特支校・行政等)

目指す生徒の姿

- ・授業や資格取得、部活動等に積極的に取り組み、何事にも前向きに挑戦する生徒。
- ・元気よく挨拶ができ、周囲の人のことを考え行動できる生徒。
- ・自らの進路を真剣に考え行動し、将来、地域社会の産業発展に貢献できる生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・工業における専門知識や技術
- ・確かな基礎学力の定着(探究活動を中心とした学び)
- ・生徒の興味関心・進路希望にあわせた知識・技能

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・生徒が興味関心を持つ授業と資格取得への挑戦
- ・全職員による基礎学力向上指導(ICTによるわかる授業)
- ・目的意識がより高まる充実した選択科目ガイダンス

実施するために何が必要か

- ・単位制総合工学科の特徴を生かした、社会と地域のニーズに応じた教育課程の研究と実践
- ・ものづくりマイスター、地元産業界、大学等との連携し実態に合わせた育成手法の開発(企業実習等)
- ・一人ひとりの生徒と向き合う時間の確保
- ・安全教育の機会の確保(実習・勝工安全の日)
- ・多様な生徒に対応できる指導・支援体制の構築
- ・専門高校間と連携した産業の複合化への対応
- ・道徳的実践力向上を目指した指導体制の確立
- ・家庭・地域との情報共有および連携・協働
- ・最先端技術や成長産業へ接続する専門性の追求
- ・地域貢献や体験活動からの新たな価値の創造

安心・安全を守る

- ・安全教育の充実(安全で安心できる学校生活)
- ・施設設備の点検励行(学校事故撲滅)

開かれた学校づくり

- ・学校内外への充実した広報活動の推進
- ・社会教育との交流
- ・PTA活動の活性化